



沖縄県の環境



沖縄の地理的優位性



アジア主要都市が4時間圏内にあり、東アジアの中心に位置する。



沖縄	ソウル	2時間10分
	青島	2時間50分
	上海	2時間5分
	台北	1時間30分
	香港	2時間35分
	バンコク	4時間25分
	成田	2時間25分
	羽田	2時間20分
	名古屋	2時間15分
	関空	1時間50分



国際物流拠点としての今後の展開 1 (沖縄中継モデル)



全国の特産品を
“付加価値の高い、新鮮な状態”
でアジア市場へ



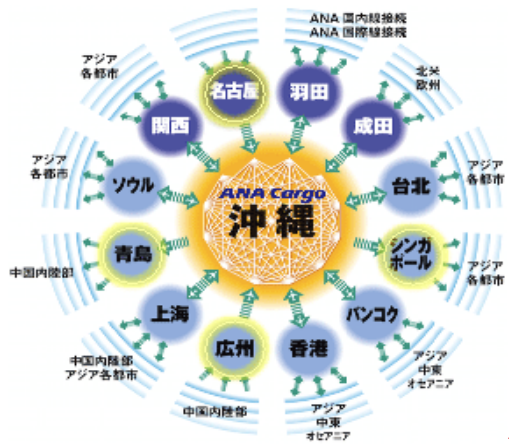
ANA 沖縄大交易会
Okinawa Great Trade Fair Pre-Trade Fair

全日空とヤマト運輸の物流インフラを活用することにより、
圧倒的有利なリードタイムを実現。
各地の特産品サプライヤーと国内外バイヤーの
ビジネスマッチングを「沖縄大交易会」がサポート。

- ◆ 生鮮食品等全国各地特産物のアジア輸出
- ◆ 電機・精密機器など高付加価値製品の迅速輸送

Eコマースサイトモールを活用し、
直接生産者から消費者へ！

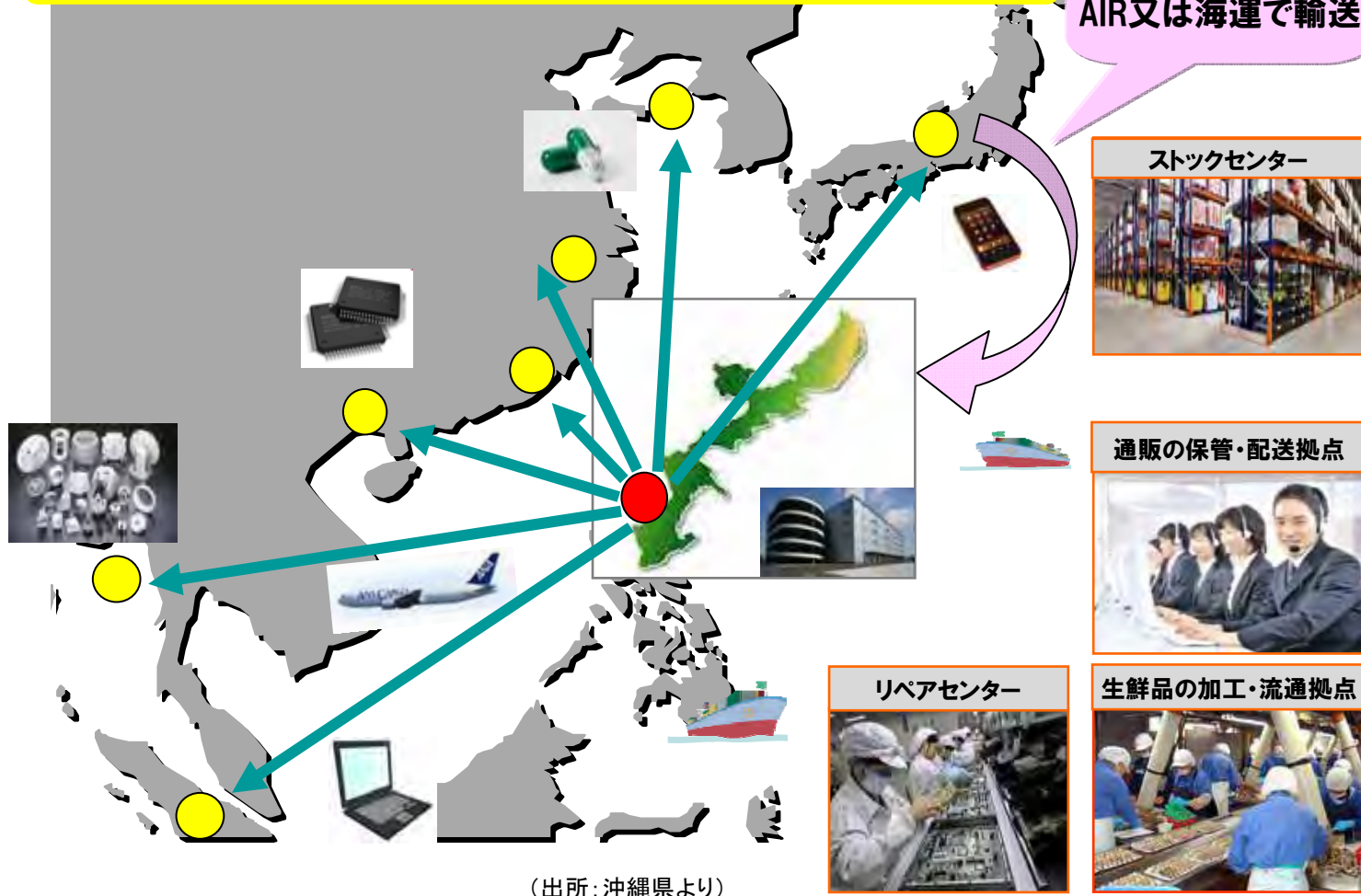
(出所: 沖縄県より)



国際物流拠点としての今後の展開2（沖縄在庫モデル）



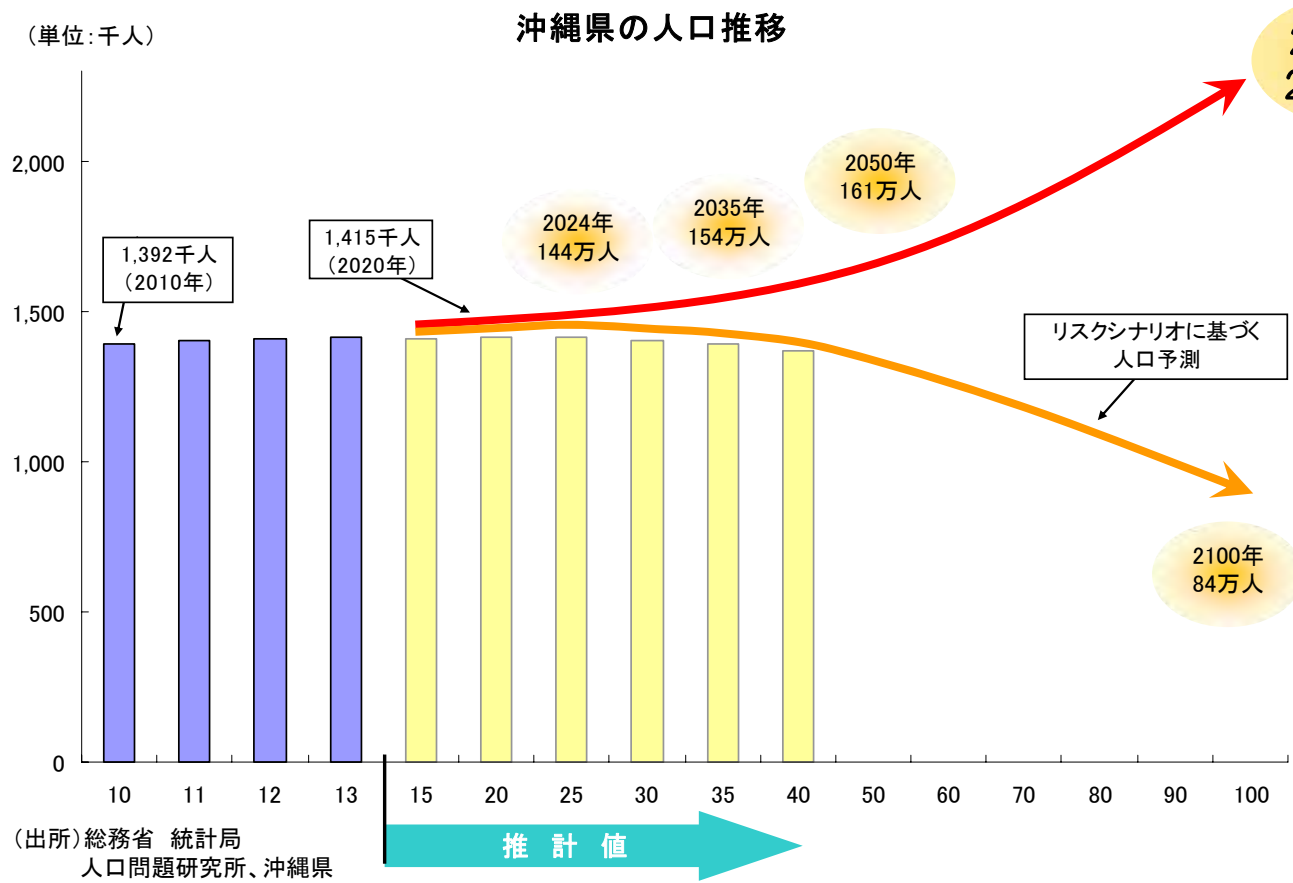
沖縄物流デポで、優位性あるアジア展開



沖縄の人口（将来展望）



2025年以降減少に転じることが予想される
増加基調にある現段階から積極的な人口増加施策を展開



自然増拡大の取組
 （安心して結婚・出産・子育てができる社会）

- ◆ 婚姻率・出生率の向上
- ◆ 健康長寿おきなわの推進

社会増拡大の取組
 （世界に開かれた活力ある社会）

- ◆ 雇用創出と多様な人材の確保
- ◆ 交流人口拡大の取組

離島・過疎地域における課題克服の取組
 （バランスのとれた持続的な人口増加社会）

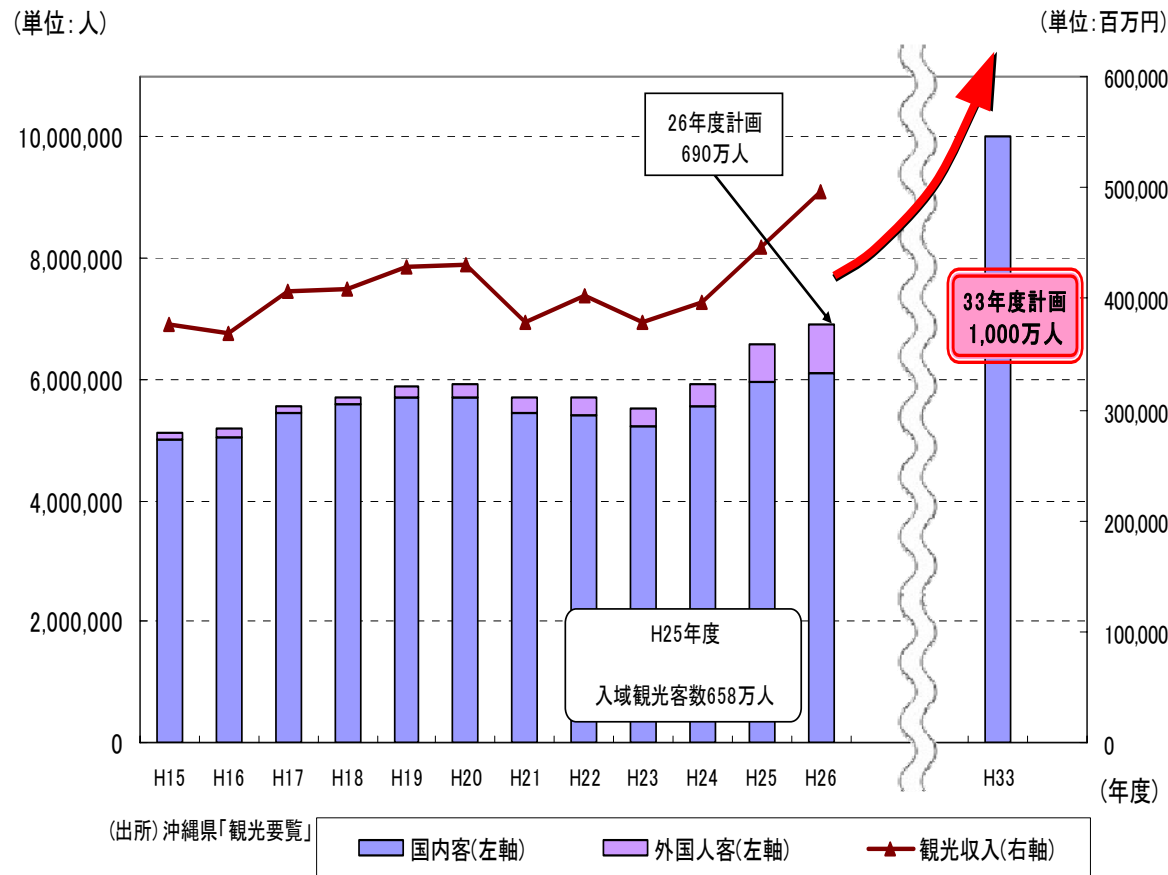
- ◆ 定住条件の整備
- ◆ 特色を活かした産業振興



観光客数の推移

平成25年度は過去最高の入域観光客数658万人
国内・外国人観光客ともに過去最高更新

入域観光客数と観光収入の推移



国家戦略特区指定
国際観光拠点
(平成26年指定)

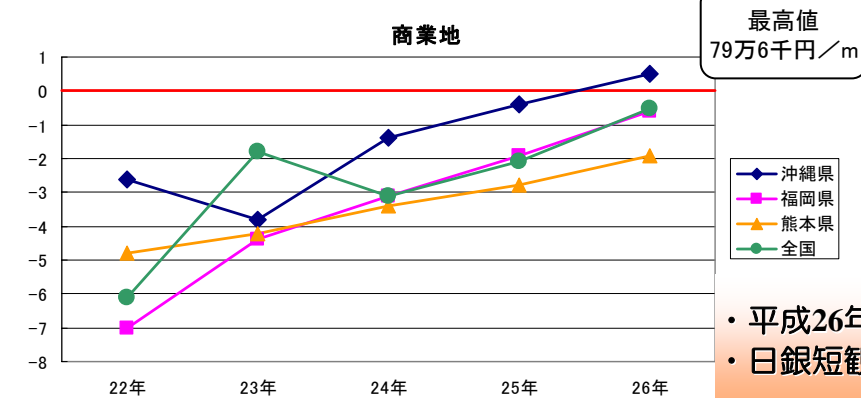
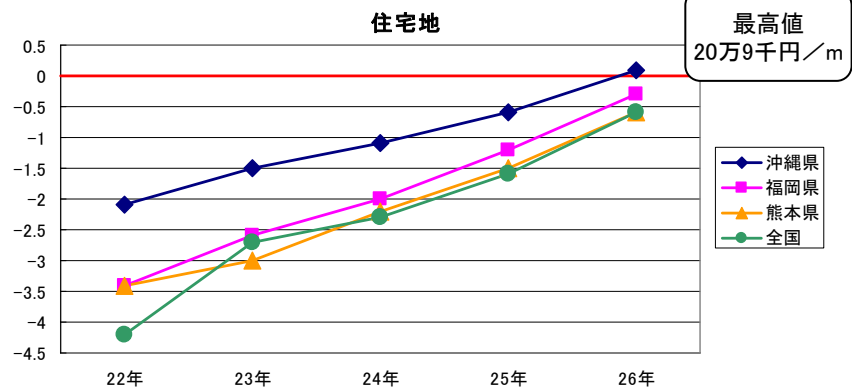
那覇空港第2滑走路
(平成31年完成予定)

大型MICE(国際会議等施設)
(平成32年供用開始)

足元の経済動向1

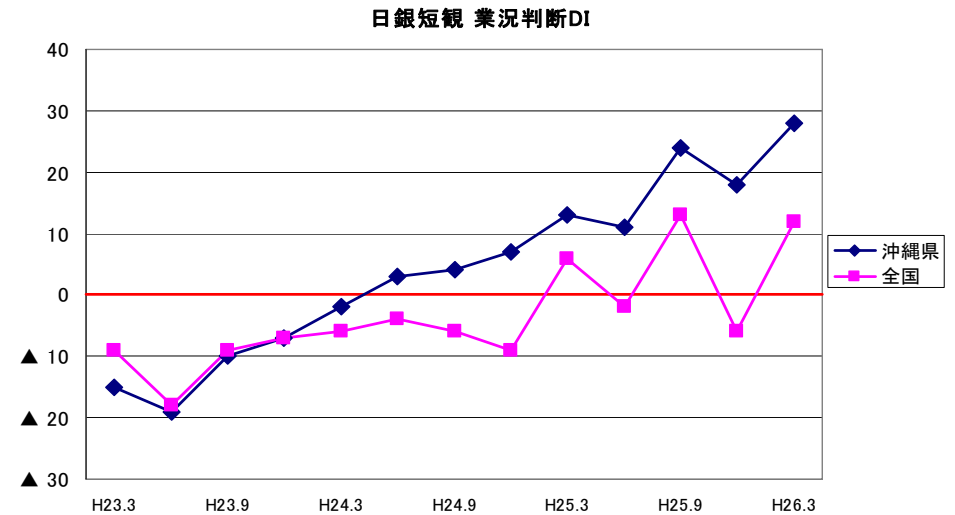


地価公示



出所 国土交通省

日銀短観



出所 日本銀行 那覇支店

- ・平成26年地価公示、沖縄県は九州で唯一地価上昇県となった。（全国6位）
- ・日銀短観からも全国と比較して、景況感の改善が確認できる。



足元の経済動向2

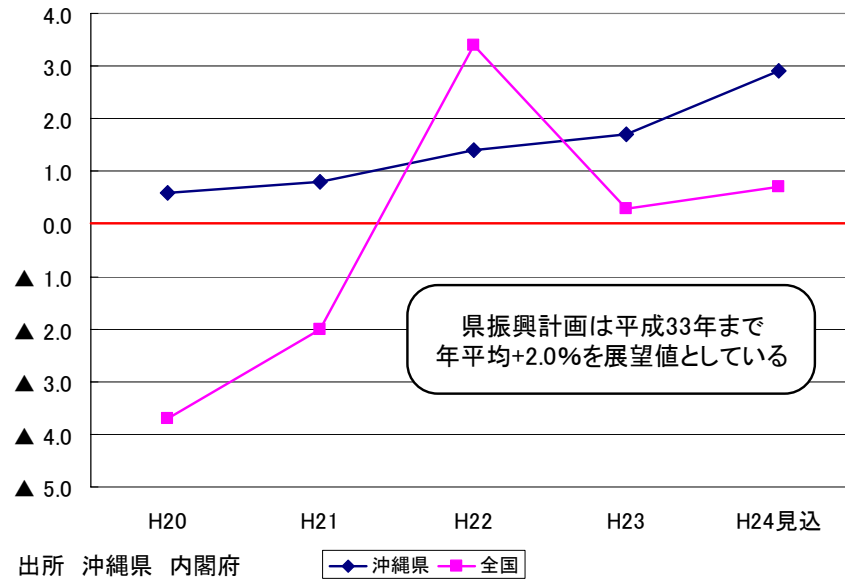


経済成長率（実質）

完全失業率

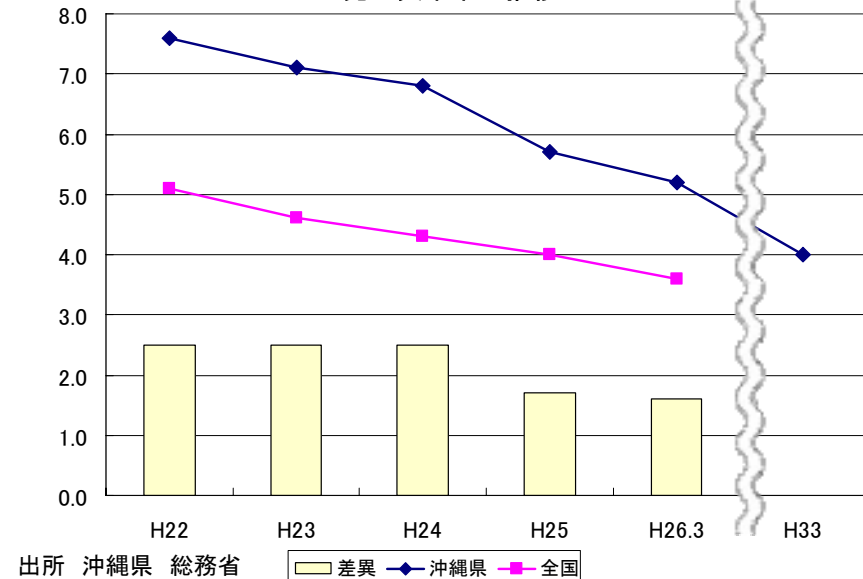
(単位:%)

沖縄県と国の経済成長率の比較



(単位:%)

完全失業率の推移



- ・ 全国と比較して高い成長率を維持
- ・ かつて全国の2倍程度あった失業率も全国水準に近づいてきている

